

# ハーモニー

Harmony

第46号 2008年6月18日発行

日本養護教諭教育学会

Japanese Association of Yogo Teacher Education

日本養護教諭教育学会

事務局：〒448-8542

刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学養護教育講座

後藤研究室

TEL&FAX 0566-26-2491

振替口座：00880-8-86414

<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp>

## 目次

2008年度の学会事業について	2
第16回学術集会へのお誘い	4
第16回学術集会（岡山）のご案内－第2報－	4
トピックス	
教員免許更新制について	
～養護教諭の専門講習18時間以上～	5
特別企画	
－私の県の「ここが特色」⑥	
広島県における養護教諭の研修の充実	6
新・特別企画	
－「私の実践と研究」リレー・レポート④	
小中一貫校での学校保健活動	7
研究助成金研究の経過報告①	
養護実践力の育成を目指す養護教諭養成カリキュラムの検討	
－学内・学外における系統的な実習のあり方－	7
研究助成金研究の経過報告②	
養護教諭の行う救急判断のためのエビデンス構築に向けての研究	
－頭部外傷時の救急判断において－	8
研究助成金研究の募集について<2008年度の選定報告>	8
日本養護教諭教育学会役員選出のための名簿登録の確認について	9
日本養護教諭教育学会「選挙有権者」及び「被選挙権者」の名簿	10
学会誌第12巻第1号投稿原稿の募集	15
理事会等の報告	15
お詫びと訂正	16
編集後記	16

## 2008年度の学会事業について

理事長 後藤ひとみ (愛知教育大学)

新年度の慌ただしさに追われているうちに梅雨の季節を迎えました。雨後の新緑が美しく輝く一方で、毎日のように悲しいニュースが届きます。教育3法の改正に続いて、50年ぶりに学校保健法も大きく変わろうとしています。心身ともに健やかな子どもの育成を願って、「養護教諭は何をすべきか」、「学会は何ができるのか」などを改めて考えていかなければならないと思っています。

さて、第IV期の理事会も3年目を迎えました。来年度からは選挙によって各ブロックから選出された理事による運営が始まります。そこで、1992年に設立された本学会の歴史を継承しながら、新たな学会運営への足がかりをつけることも現理事会の役割であると考えています。

本年4月の第1回理事会では、昨年10月の総会で承認された2008年度の事業計画について次のような内容を確認しました。会員の皆様におかれましては、ますますのご支援とご協力をお願い致します。

### (1) 第16回学術集会(岡山)における理事会主催のプレ・コンGRESの開催

昨年の学術集会(札幌)でプレ・コンGRESを初めて開催しました。よくある自由集会のようなものですが、学術集会実行委員会の企画とは別に会員相互の意見交流の場を作ることを目的として企画しました。参加者からの要望もありましたので、今年も学術集会開始前の時間をいただき、2つの会場で開催することにしました。テーマの一つは、「養護教諭の専門領域に関する用語の解説に関すること」を予定しています。もう一つは、「養護教諭の力量や資質に関わる現代的な課題に関すること」を取り上げ、後述する学会活動委員会のうちの常設委員会の活動内容の参考にしたいと思っています。

つきましては、2008年10月18日(土)

午前10時～11時半に行うプレ・コンGRESで取り上げてほしいテーマを募集致します。2008年7月15日(火)必着にて、学会事務局までお知らせ下さい。

(FAX: 0566-26-2491、Eメール: JAYTEjimu@yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp)

### (2) 学会助成研究への助成と「奨励賞」の試行

今年も2009年度の学会助成研究を募集します。しかし、2008年度の助成に応募がなかったことをふまえて、今後は会員の研究発表の活性化と優れた研究の学会誌への掲載を進めるために、新たに「奨励賞」を設けることにしました。詳細については検討中ですが、今年度の学術集会において試行したいと思います。具体的には、2008年度分として計上していた学会助成研究予算の半分を奨励賞(5件程度)の報奨金に充て、学会誌投稿のための査読料等に使用していただく予定です。

### (3) 学会誌の発刊

次年度以降の早い時期に年2回発刊を実現したいと思っていますが、そのためには投稿論文数を増やす必要があります。そこで、上記(2)で述べたように、学会における一般発表の中から「論文とすることを奨励する発表」を奨励賞として選定し、学会誌投稿への動機づけを高めていきたいと考えています。

### (4) 学会活動委員会の発足

改正した会則第12条の規定に基づき、「本会の目的を達成するために必要な研究事業を行う」学会活動委員会を設置します。学会活動委員会には、常設の委員会と臨時の委員会を設けます。常設委員会として、「『養護教諭の専門領域に関する用語の解説集』に関する検討」と「養護教諭の専門性に関する検討」をテーマとした2つの委員会(正式な名称は検討中)を置きます。また、臨時の委員会として、今年度は「養護教諭の職業倫理に関わる規定(仮称)」のための検討委員会を設置します。

つきましては、「養護教諭の職業倫理に関わる規定(仮称)」を検討する委員会(鎌田理事・竹田理事が担当)に参加を希望する会員、特に現職養護教諭の方の参加を募集します。ご希望の方は、2008年7月10日(木)必着にて、上記の学会事務局までお知らせ下さい。

(5) 会則の規定に則った運営組織の体制づくり  
会則第10条(6)において「理事長が推薦し、理事会の議を経て委嘱する」とされている4名の常任理事を選定し、学会運営のための組織体制を具体的にまとめていきたいと思えます。次期の役員体制がスムーズに機能していくような素地づくりになればと思えます。

#### (6) 諸規定の検討

「学会活動委員会に関する内規」、「学術集会の開催地及び学会長推薦に関する内規」などの検討を進めています。上記(5)の検討と合わせて、15年余りの学会運営の成果を内規などに明文化する作業を進めたいと思えます。

#### (7) 次期役員を選出と理事選出のための選挙の実施

本学会において初めて行う選挙であることから、選挙管理委員会および学会事務局には多大なご尽力をいただいているところです。総会の後には関係する内規の見直しを含めた課題の有無などを整理し、今後のあり方に生かしていきたいと思えます。

#### (8) 養護教諭関連機関および団体との交流

昨年12月の「中央教育審議会答申(中間報告)」に対するパブリックコメントへの対応に関わって参集した「養護教諭関係団体連絡会」をはじめ、養護教諭に関係する学会等とも学会HPのリンクをはるなどして相互理解を深めていきたいと思えます。

#### (9) その他

昨年12月のパブリックコメント内容等は、学会としての意見や提案内容を歴史的事項として記録しておくべきとの理事会の判断により日本養護教諭教育学会誌第11巻第1号に掲載しました。

その後、1月17日に答申が出され、2月29日には学校保健法を学校保健安全法と改称するなどの内容を盛りこんだ法案(平成21年4月1日施行)が国会に上程され、まもなく改正案が成立しようとしています。

今後の省令改正などにも注目しながら、上記の活動を来年3月末までをメドに取り組んでまいります。会員の皆様のご支援とご協力をお願い致します。

#### <理事の勤務先変更>

- ・齊藤ふくみ(茨城大学)
- ・鈴木 裕子(国士舘大学)
- ・竹田由美子(東京福祉大学)
- ・山崎 隆恵(神奈川県立綾瀬西高等学校)

これに伴い、編集委員会事務局を国士舘大学に変更しました。



## 第16回学術集会へのお誘い

学会長 高橋 香代  
(岡山大学大学院教育学研究科)

日本養護教諭教育学会第16回学術集会を、2008年10月18日から19日にかけて、岡山大学で開催いたします。中桐佐智子先生による第7回の学術集会に続いて、2回目の岡山の地での開催となります。なによりアクセスのよい場所ですので、沢山の学会員の皆様に参加いただきますようお願いします。

テーマは『養護実践における理論構築—「からだをみる」を科学する』としました。これまでの養護実践を踏まえて、理論構築を行う学術集会にしたいと、実行委員一同張り切って準備をしています。テーマに合わせて、シンポジウムⅠは「養護教諭がからだをみる視点」としました。日々の健康観察、健康相談活動、救急処置において養護教諭がどうからだをみているのか、またみていくべきかを考えたいと思います。また特別講演は「熱中症を科学する」という題目で、岡山大学の伊藤武彦先生にお願いしました。

「からだをみる」を科学した上で、養護実践を行うためには、なんといっても養護教諭のコーディネート力が問われます。そこで学会1日目に、「養護教諭のコーディネート力」をテーマに3つのワークショップを企画しました。学校内連携、専門機関との連携、地域との連携を取り上げています。この3つのワークショップを踏まえて、2日目にはシンポジウムⅡ「養護教諭がコーディネート力を育てるには」ということで、養護実践の中で、いかにコーディネート力を育てていくのかを具体的に語り合いたいと考えています。

学会前にはプレ kongress の時間をとります。一般口演の申し込み締切は、2008年8月8日です。岡山大学のいちょう並木が色づく秋、養護実践の中からエビデンスと一緒に創造する学術集会にできればと期待して、皆様のご参加をお待ちしております。

## 第16回 学術集会(岡山)のご案内

### —— 第2報 ——

#### 1. 期 日

2008年10月18日(土)12時30分から  
10月19日(日)16時まで

#### 2. 会 場

岡山大学創立五十周年記念館  
〒700-8530 岡山市津島中一丁目1-1  
TEL 086-251-7057 (記念館事務室)

#### 3. メインテーマ

養護実践における理論構築  
—「からだをみる」を科学する—

#### 4. 内 容

##### 1) 特別講演「熱中症を科学する」

伊藤武彦 (岡山大学)

##### 2) シンポジウムⅠ

「養護教諭がからだをみる視点」

コーディネーター

岡田加奈子 (千葉大学)

三村由香里 (岡山大学)

##### 3) ワークショップ

「養護教諭のコーディネート力」

WS1 学校内連携

コーディネーター

鈴木 薫 (岡大教育附属小学校)

WS2 専門機関との連携

—発達障害、慢性疾患を持つ子どもへの対応—

コーディネーター

津島ひろ江 (川崎医療福祉大)

WS3 地域との連携

コーディネーター

平松恵子 (岡山県立芳泉高校)

(ワークショップ参加者は事前に募集します)

##### 4) シンポジウムⅡ

「養護教諭がコーディネート力を育てるには」

コーディネーター

後藤ひとみ (愛知教育大)

田嶋八千代 (岡山大学)

#### 5. 一般演題の募集

##### 1) 口演とポスター発表

発表8分、質疑応答7分

##### 2) 演題申込締切

- 2008年8月8日(金) 必着
- 3) 抄録原稿締切  
2008年8月20日(水) 必着
- 4) 送付先  
〒700-8530 岡山市津島中三丁目1-1  
岡山大学教育学部 養護教育講座  
第16回学術集会事務局 宛  
TEL & FAX 086-251-7699 (研究室直通)  
e-mail:kayosan@cc.okayama-u.ac.jp
6. プレコンGRES  
10月18日午前10時より11時半まで  
プレコンGRESを開催する予定です。
7. 参加費  
会 員：3,500円(8月31日まで)  
4,000円(当日申込)  
会員外：4,000円  
学 生：1,500円  
抄録のみ：1,000円(送料込み)
8. 学会事務局・お問い合わせ  
詳細は日本養護教諭教育学会公式ホームページ  
<http://www.yogokyoyu-kyoiku-gakkai.jp/>  
よりアクセスしてご覧下さい。
9. 宿泊は日東トラベルがお世話します。  
TEL 086-803-3090 FAX 086-803-3093  
(担当：今井、西楨、小林)

◆会場へのアクセス◆

- \* JR 岡山駅 (バス)  
岡山駅西口 (JR 西口) → 岡大西門下車  
徒歩 2 分 (約 15 分)
- \* JR 岡山駅 (バス)  
岡山駅 (JR 東口) (JR 駅前バス乗り場  
天満屋経由) → 岡大西門・徒歩 2 分 (約  
30 分)
- \* JR 岡山駅 (JR 津山線)  
法界院駅 → 徒歩 20 分
- \* JR 岡山駅 - (タクシー) (約 10 分)
- \* 岡山空港 - (空港バス)  
JR 岡山駅まで (約 30 分)

〇〇〇 トピックス 〇〇〇

教員免許更新制について

～養護教諭の専門講習 18 時間以上～

田嶋 八千代 (岡山大学)

平成 18 年 7 月の中央教育審議会答申「今後の教員養成・免許制度の在り方について」にて、教員免許更新制の導入についての提言がなされました。これを受け、平成 19 年 6 月に教育職員免許法及び教育公務員特例法が改正され、平成 21 年 4 月より教員免許更新制が実施されることとなりました。実施に向け、免許状更新講習規則が定められ、更新に要する費用負担等の検討がなされ準備が進められています。なお、本年度は導入に向けて全国 101 の大学等で「予備講習」が実施されます。

以下は、教員免許更新制の概要です。

○目的

その時々で教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能の修得を図り、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指す。

○有効期間の更新

- ・免許状の有効期間は、その満了の際、申請により更新することができる。
- ・免許管理者(都道府県教育委員会)は、最新の知識技能の修得を目的とする免許状更新講習を修了した者等について、免許状の有効期間を更新する。

①免許状更新講習を修了した者

②知識技能等を勘案して免許管理者が認めた者(免除対象者)

\*免除対象…管理職、主幹教諭、指導教諭、教育長、指導主事、免許状更新講習講師等

- ・災害その他やむを得ない事由があると認められる場合には、有効期間を延長できる。

○免許状更新講習について

- ・免許状更新講習の開設者(大学、指定教員養成機関、都道府県教育委員会等)は文部科学大臣の認定を受けて開設する。
- ・免許状更新講習の時間は 30 時間以上とされており、講習内容の内訳として

- ①「教育の最新事情に関する事項」については12時間以上（全教員が必ず受講）
- ②「教科指導、生徒指導その他教育内容の充実に関する事項」については18時間以上（専門的内容別）
- ・講習の課程の修了認定（課程の一部の履修の認定を含む）は、講習の開設者が試験により行う。

○教員免許状（平成21年4月1日以降に授与されたもの）の有効期間

- ・普通免許状及び特別免許状に10年間の有効期間を定める。  
（授与から10年後の年度末まで）

○施行前（平成21年3月31日まで）に授与された免許状を有する教員の取扱い

- ・10年ごとに免許状更新講習を修了したことの確認を受けなければならない（文部科学省令で定める日及びその後10年ごとの日）。
- ・修了確認期限までに更新講習の修了確認を受けなかった場合には、その者の有する免許状はその効力を失う。

○免許状更新講習の受講期間

- ・講習を受講し、修了すべき期間…免許状の有効期間が満了する日又は修了確認期限までの2年2ヶ月間

○免許状の有効期間の更新又は更新講習修了確認の申請

- ・有効期間の更新…満了する日の2月前
- ・講習修了確認…修了確認期限の2月前

○複数の免許状を有する者の更新の在り方

- ・2つ以上の免許状を有する者が更新する場合には、「教科指導、生徒指導その他教育内容の充実に関する事項」については、所持する免許状が養護教諭の免許状にあっては養護教諭を主な受講対象者とする免許状更新講習を修了する必要がある。

**特別企画** 私の県の「ここが特色」⑥

広島県における養護教諭の研修の充実

岡田真江（広島県立教育センター）

広島県では、養護教諭の専門性を高めるために、次のような研修を実施しています。

1 養護教諭の指定研修

養護教諭の指定研修は、全て教育センターで実施しています。（具体的研修は表1）また、初任者研修における退職養護教諭の指導者に対しても、連絡協議会（2日間）を開催し、指導内容に係わる研修を行い、研修内容の充実を図っています。

表1 養護教諭の指定研修

区分	校内研修		校外研修	
	校長等指導	退職養護教諭	教諭合同	養護教諭のみ
初任者	5日	15日	8日*	5日
6年目	1日			2日
10年目	10日		4日	9日

※教諭合同の宿泊研修（3泊4日）を含む。

2 教育センターにおける研修

教育センターでは、指定研修以外にも、専門研修として健康教育に係わる講座（健康相談活動、児童生徒のメンタルヘルス、健康教育）、サテライト研修（学校等に出向く研修）として、校種を超えた合同研修や教育研究団体等の自主研修の講座（健康教育、健康管理、健康相談活動）、ヘルプ&サポート相談事業（個別の課題解決のための自由な研修）として、学校保健（学校保健に関するパソコン研修、情報機器を活用した保健教材作成、健康教育の指導案検討、保健だよりや保健室経営計画の作成）の研修を実施しています。

3 指導主事の自主的な研修

広島県には、養護教諭出身の指導主事が6名おり（広島県教委1名、県立教育センター2名、広島市1名、福山市2名）、これら現職の指導主事と指導主事経験者が、指導主事としての資質向上や養護教諭研修の充実を図るために、自主的に研修会を開催しています。

4 その他

養護教諭の研究能力向上のために、県から補助金を受け、校種別に研究会を設立しています。又、教育センターで長期研修生として半年間、教育研究を行っています。

◇◇◇ 新・特別企画 ◇◇◇

「私の実践と研究」リレー・レポート④

—小中一貫校での学校保健活動—

高田しずか（京都市立京都御池中学校）

前任校の京都市立御所南小学校では、総合的な学習の時間を中心に、健康教育を計画し、実践してきた。限られた時間枠の中でより効果的に健康教育を行っていくためには、総合的な学習での体験やいろいろな学習活動での学びの関連づけがぜひとも必要と考え、学習内容や年間計画を見直し、相互の関連、実施時期の検討、指導体制の工夫などを行って、健康教育のカリキュラムの編成をしてきた。またポートフォリオを活用して各自の学習活動の記録を集積し、健康生活の目標設定や自己評価に生かす試みも行った。その後、大学院に修学する機会を得、ポートフォリオ評価に取り組み、特に「振り返る力」に着目して健康教育の評価について研究を行った。

3年前よりはじめて中学校に勤務することになった。昨年度から小学校2校との小中一貫教育がはじまり、中学校の校舎で小学6年生が共に学校生活を送っている。これまでの枠組みとはちがう中で、発達段階の違う4学年の子どもたちの発育・発達をどう支援していくか模索中である。1年目の昨年は、6年生がこれまでの学校生活をできるだけ変化なく送れるよう、健康・安全面での環境整備に重点をおき、小学校の学校保健活動を引き継いで行った。1年間を終えてみて、小中学校間の健康診断や健康教育の実施方法や回数の違いをどう調整していくか、保健室を訪れる子どものニーズの違いに対応した保健室の環境づくりをどうするかといった課題が明らかになった。これらの課題に加えて、今年度は小学校2校の養護教諭と協力して、小中学校9年間を見通した健康教育の年間計画の立案や評価について検討しつつ、本校の特徴をふまえた地域ぐるみの実践へと拡がるよう取り組んでいきたい。

● 研究助成金研究の経過報告① ●

養護実践力の育成を目指す養護教諭  
養成カリキュラムの検討

—学内・学外における系統的な実習のあり方—

代表 斉藤ふくみ（茨城大学）

2006年度の研究では、養護教諭一種免許状の課程認定を受けている78大学（有効回収数37大学）を対象に養護実践力の育成という観点から養護概説を中心としたカリキュラム分析を行いました。その結果、教育職員免許法に定められている最低修得単位である2単位を超えて「養護概説」に相当する科目を開講している大学は15大学（40.5%）でした。これらの科目を演習・実習として開講している大学は7大学であり、講義だけで開講している実態が捉えられました。

そこで、2007年度の研究では、養護実践力の育成を目指す養護教諭養成カリキュラム試案を検討することを目的として、学内・学外における実習の系統性に着目してきました。

具体的には、「養護概説」担当者が開講する演習・実習を内容とする授業を参観し、授業分析をしています。さらに授業担当者への聴き取り調査を行い、養護実践力育成という目的のために工夫されている点（内容・方法）を明らかにし、養護実践力の育成を目指す養護教諭養成カリキュラムの試案を検討しています。

子どもの健康管理と健康教育を担う養護教諭には高い専門性と指導力が求められています。本研究によって学内・学外実習の系統性を意識した、養護実践力の育成につながるような養護教諭養成の改善がなされることを期待しています。本年10月の学会発表にむけて詳細な分析を進めています。



## ● 研究助成金研究の経過報告② ●

### 養護教諭の行う救急判断のための エビデンス構築に向けての研究

－頭部外傷時の救急判断において－

代表 三村由香里（岡山大学）

養護教諭は日々、救急対応のための判断を行っているが、専門職としての養護教諭が行う判断の範囲や、求められるレベルは明確にされていない。さらに、従来、救急処置において判断の根拠とされているものは医学診断、医療現場でのデータが中心であった。そこで本研究は、頭部外傷時の状態把握のためのチェックリストを作成することにより、養護教諭の実践の中から、養護教諭に必要な判断のための根拠を示すことを目的としている。まず養護教諭を対象に日常的に経験する頭部外傷の頻度と、現在までに経験した重症例の病名と転帰についてアンケート調査を行った。その結果、頭部打撲、頭部の擦り傷などの軽症例は7割以上の養護教諭が月1-2回以上経験しているが、脳震盪、頭蓋骨骨折などの重症例はほとんどないと回答が半数以上であった。しかし、重症例を経験した養護教諭は31.1%であり、脳挫傷、脳出血による死亡例を経験しているものもあった。以上より、頭部の打撲はかなりの頻度で経験しているものの、重症例の頻度は必ずしも高くはないことが伺えた。従って、養護教諭に求められる判断は、日頃経験する頭部打撲の中から、重症例を見逃さないことではないかと考える。養護教諭は頭部外傷における診断名を明らかにすることが求められるわけではなく、どのような対応に結び付けるかの判断が必要である。そこで、養護教諭が経験した重症例を元に、「生命に関わる可能性があるため緊急で医療機関に搬送する」、「器質的傷害の可能性があるので医療機関の受診を指示する」、「保健室で経過を観察する」などのトリアージ機能を持ったチェックリストを作成し、学校現場で養護教諭に使用してもらった。その意見を元に、現在、チェックリストを改訂中である。

## 研究助成金研究の募集について ＜2008年度の選定報告＞

2008年度研究助成金対象研究の申請者募集は、2007年10月の年次総会において承認された日程により、2008年3月15日に締め切りました。誠に残念な次第ですが、期限内には申請者がありませんでした。理事会で審議した結果、2009年度の研究助成金研究申請締切が2008年9月10日と近いことから2008年度は再募集せず該当者なしと決定させていただきました。なお、研究助成金として準備した予算は、学会活動委員会の活動費に活用させていただく予定です。

## ＜2009年度の申請者募集＞

2009年度の研究助成金対象研究の募集を行います。研究助成金対象研究は、学会共同研究（学会の特別企画としてメンバーを公募して行われる共同研究）とは異なり、会員が自主的に応募する研究です。学会会員、とりわけ現職養護教諭の皆様には奮って、ご応募をお願いします。

2009年度研究助成金の申請書は、学会ホームページからダウンロードをお願いします。

申請先は学会事務局で、申請締切は、2008年9月10日です。10月開催予定の2008年度第3回理事会で選定基準に基づいて選定し、2008年10月に開催される年次総会で承認を受けます。

申請書には、①研究テーマ（新規、継続の別）、②予定研究期間（1年、2年の別）、③研究者（所属、年令）、④研究計画「研究の目的」「研究の方法」「研究の独自性」「研究のスケジュール」を、A4・2枚以内でご記入ください。選定基準の主なものは、学会の趣旨に沿った研究目的（養護教諭養成教育、又は養護実践に関する研究）、目的に合致した適切な研究計画、研究の独自性、適正な助成金の使用用途です。不明な点は、研究活動担当理事高橋までメールでお尋ねください。

アドレス：kayosan2@cc.okayama-u.ac.jp  
（研究活動担当理事 高橋 香代）



平成 20 年 6 月 13 日

会員各位

日本養護教諭教育学会  
選挙管理委員会  
委員長 吉田瑠美子

## 日本養護教諭教育学会役員選出のための名簿登録の確認についてのお願い

皆様には御健勝のことと存じます。

さて、選挙管理委員会ではすでにハーモニー第 45 号にて役員を選出について告示しましたが、このたびは「選挙有権者名簿」及び「被選挙権者名簿」を公表し、会員の皆様が正規に登録されているかどうかの確認をしたいと思えます。

名簿は所属ブロックごとの五十音順で記載してあります。

つきましては、下記の要領で会員一人一人が名簿を確認し、異議や訂正がある場合には、下記の学会事務局宛に書面（FAX・E-mail を含む）で平成 20 年 6 月 30 日（月）必着にて申し出てください。

受理したものについては、「確かに受理した」旨の返信を差し上げますので、申し出たにもかかわらず返信がない場合には、恐れ入りますが再度ご連絡ください。また、同日までに申し出がない場合には、この名簿が認められたものとしします。

- 1 選挙有権者は、2008 年 4 月 30 日現在で 2007 年度の年会費を納入済みの会員とする。  
被選挙権者（理事の有資格者）は、2008 年 3 月 31 日現在、引き続き 3 年以上会員であったものとする。  
名誉会員及び賛助会員・団体会員は、選挙権及び被選挙権ともないものとする。
- 2 会員の所属ブロックは、原則として 2008 年 4 月 30 日現在の学会事務局登録の勤務先または在籍校の所在地とする。または、このいずれでもない場合は自宅所在地とする。

各都道府県の所属ブロックは以下のとおりである。

北海道・東北……………北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島  
関東……………茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨  
中部……………新潟、富山、石川、福井、静岡、長野、愛知、岐阜、三重  
近畿……………滋賀、京都、大阪、奈良、和歌山、兵庫  
中国・四国……………岡山、広島、鳥取、島根、山口、徳島、高知、愛媛、香川  
九州……………福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

### 3 異議・訂正例

- (1) 氏名、所属ブロックに誤りがある。
- (2) 選挙権・被選挙権があるにもかかわらず名簿に氏名が登録されていない。
- (3) 選挙権・被選挙権がないにもかかわらず名簿に氏名が登録されている。

- 4 連絡先 〒 448-8542 刈谷市井ヶ谷町広沢 1  
愛知教育大学養護教育講座 後藤研究室  
日本養護教諭教育学会事務局内 選挙管理委員会  
TEL/FAX : 0566-26-2491 E-mail : JAYTEjimu@yogokyo-yu-kyoiku-gakkai.jp

## 日本養護教諭教育学会「選挙有権者」及び「被選挙権者」の名簿

- ・下記の方々は選挙有権者です。
- ・氏名の前の※印は、被選挙権者を示します。
- ・氏名の後の数字は、会員番号を示します。

### <北海道・東北>

※ 赤木光子 86	※ 小菅光恵 637	※ 津村直子 312
※ 浅利恵子 52	※ 小林央美 154	※ 津腰律子 852
※ 新井猛浩 228	※ 作原ひとみ 785	※ 富田勤 30
※ 新谷ますみ 724	※ 佐々木綾 890	※ 長尾佳子 615
飯田貴子 893	※ 佐々木奈緒 749	※ 中下玲子 386
石倉あゆみ 823	※ 佐々木美枝子 173	※ 中野原代 537
伊藤智恵子 822	※ 笹原和子 674	※ 生井翔子 875
※ 井上悦子 231	※ 佐藤理 619	※ 成田みどり 240
※ 今野洋子 290	※ 佐藤千代子 533	※ 野中早知子 744
※ 入駒一美 384	※ 佐藤倫子 901	※ 橋場静香 534
※ 内山陽子 642	※ 佐藤妹佳 618	※ 濱端美奈子 844
※ 梅原マサ子 447	※ 佐藤祐子 475	※ 早坂幸子 244
※ 遠藤巴子 192	※ 佐藤玲奈 529	※ 菱沼ゆう 876
及川千幸 869	※ 佐山亜美 883	※ 平賀ゆかり 431
※ 大久保牧子 393	※ 鹿野裕美 540	※ 藤原立子 868
大越恵子 297	※ 芝木美沙子 56	※ 船水郁里 528
大場祐子 873	※ 柴田周子 904	※ 古野桂子 219
小川美幸 895	※ 庄子幸恵 572	※ 堀籠ちづ子 46
※ 小菅典子 237	※ 菅澤麻子 61	※ 松田浄恵 424
小原吏恵 880	※ 鈴木美和 826	※ 丸岡里香 706
※ 葛西敦子 430	※ 高田幸子 435	※ 三上純子 437
※ 笠井直美 646	※ 高橋晃子 629	※ 三鍋とも子 898
※ 柏木明香 607	※ 竹崎登喜江 99	※ 宮幸子 399
※ 加藤尚子 259	※ 武田淳子 725	※ 面川幸子 477
加藤玲子 913	※ 竹浪優子 686	※ 面澤和子 446
川口眞理 918	※ 竹本礼子 914	※ 盛昭子 39
川崎佳子 825	※ 多田怜代 881	※ 森祥子 833
※ 川原詳子 277	※ 多田淳子 403	※ 山口厚子 601
※ 菅野由紀子 395	※ 只野喜代美 40	※ 山道弘子 380
※ 菊地智子 569	※ 反保侑子 887	※ 山田玲子 836
※ 菊池美和子 874	※ 築地優子 769	※ 山横堀良男 892
※ 工藤宣子 247	※ 千田雅子 417	※ 吉田瑠美子 131
※ 黒原有香 894	※ 千葉久美子 799	※ 渡邊祐子 866
※ 桑野三千代 365	※ 角掛奈緒美 879	

< 関 東 >

※ 朝倉隆司	758	※ 久保田かおる	532	※ 中根浩美	291
阿部真理子	849	久保千恵子	911	※ 中中村公子	576
※ 阿萬智恵	385	※ 郡司久子	468	※ 中中村朋子	34
※ 荒川雅子	426	※ 小口博子	626	※ 中中村道子	590
安藤徹子	845	※ 小瀬古貴子	587	※ 中根本節子	809
飯塚恵美	927	※ 後藤美智子	631	※ 野田智子	726
※ 石井浩二	270	※ 小林列子	17	※ 野村真理	311
市川真知子	856	小林望	871	※ 橋口いずみ	705
※ 出井美智子	198	※ 小松良子	750	※ 橋本和幸	756
※ 出原嘉代子	478	小斎藤千景	882	※ 畑中高子	159
岩崎和子	814	※ 斎藤ふくみ	43	※ 平岩恭子	774
※ 岩田美保	665	齋藤真佐乃	786	※ 平平川俊功	550
※ 植田誠治	124	※ 齋藤理砂子	648	※ 平深沢ひろむ	720
※ 上原美子	623	※ 坂田昭恵	20	※ 福崎道子	271
牛島紗和	837	※ 坂西重子	771	※ 福島きよの	864
※ 采女智津江	101	※ 櫻田淳	510	※ 福古島さゆり	448
※ 浦中淳	7	※ 猿田和美	484	※ 古川ツネ子	280
※ 江口邦子	668	※ 塩田瑠美	222	※ 古古田幸恵	494
※ 江部紀美子	589	塩野優子	917	※ 星埜京子	559
※ 遠藤伸子	262	清水花子	782	※ 堀田美枝子	748
※ 大島夏緒里	647	※ 鈴木加代子	611	※ 本多英子	488
※ 大谷尚子	8	鈴木木仁子	843	※ 前田美和子	842
※ 大沼久美子	711	※ 鈴木雅子	483	※ 丸山野智子	264
※ 大庭玲菜	702	※ 鈴木美智子	195	※ 丸山範子	423
※ 大嶺智子	109	※ 鈴木美代子	581	※ 三木とみ子	235
大和久清子	824	※ 鈴木裕子	117	※ 道上恵美子	549
※ 小笠原紀代子	9	※ 曾根睦子	22	※ 光田雅子	658
※ 岡田加奈子	60	※ 高田薫	525	※ 光村木久美江	138
岡野容子	846	※ 高橋朋子	282	※ 森田光子	129
※ 小川浩子	521	※ 竹下智美	512	※ 矢野和佳乃	699
※ 小俣順子	570	※ 竹田由美子	25	※ 山崎隆恵	122
※ 梶岡多恵子	224	※ 竹鼻ゆかり	634	※ 山田澄子	450
門田美恵子	838	※ 玉置美恵子	738	※ 山田まゆみ	367
※ 門山由美子	535	※ 塚田庸子	339	※ 山中寿江	420
※ 鎌田尚子	11	※ 豊島幸子	337	※ 山吉澤千春	746
上柳智津	902	※ 戸田奈緒	613	※ 吉吉力丸	145
※ 亀崎路子	775	※ 鳥海洋子	492	※ 吉力丸	796
※ 川崎良枝	442	※ 中川優子	31	※ 渡邊敦子	650
※ 河田史宝	281	※ 中中下富子	682		
※ 北川梅子	445	※ 中中島栄子	897		

<中 部>

※ 秋山志津子	585	※ 小林きよ子	713	※ 濱田芳恵	558
※ 浅田知恵	740	※ 小林壽子	70	※ 林せつ子	238
※ 天野敦子	1	※ 小林陽子	203	※ 林典子	433
※ 五十嵐利恵	923	※ 小駒田玉美	276	※ 原田広恵	886
※ 池田みすず	269	※ 近藤充代	789	※ 原蓉子	298
※ 石崎トモイ	84	※ 佐光恵子	586	※ 深見真弓	560
※ 石田敦子	605	※ 佐藤勅子	891	※ 福田博美	326
※ 石田妙美	194	※ 佐野悦子	719	※ 藤井寿美子	51
※ 石田陽子	709	※ 沢田有香	865	※ 藤岡光子	497
※ 石原貴代	499	※ 鹿間久美子	653	※ 古橋純子	356
※ 伊豆麻子	889	※ 爾見かね子	220	※ 堀井道子	698
※ 牛山美奈	396	※ 島崎静子	606	※ 堀内久美子	36
※ 遠藤さとえ	644	※ 清水多衣子	307	※ 増田明美	860
※ 大城戸香織	568	※ 下村淳子	132	※ 間瀬朱美子	567
※ 大曾根孝子	683	※ 杉浦百合子	309	※ 松原紀子	780
※ 大野志保子	922	※ 杉村直美	523	※ 真野初美	526
※ 大原榮子	76	※ 鈴木みち子	548	※ 円岡和子	547
※ 岡志保子	696	※ 竹内雅子	516	※ 丸山幸恵	821
※ 尾上敦子	236	※ 竹山よしみ	675	※ 水上洋子	715
※ 奥村陽子	49	※ 田崎勝成	684	※ 水谷真理子	900
※ 大日方和枝	818	※ 田島孝子	710	※ 三井淳蔵	459
※ 小柳恭子	791	※ 田村恭子	878	※ 宮田幸江	776
※ 柿沼いずみ	294	※ 丁子智恵子	295	※ 村上いづみ	363
※ 狩野美和	226	※ 都築順子	579	※ 村瀬久美	180
※ 亀山淳子	862	※ 道坂美加	870	※ 森千鶴	90
※ 河合尚子	323	※ 遠山久美子	28	※ 安林奈緒美	661
※ 河合美保	722	※ 外山恵子	181	※ 安林幹翁	662
※ 神戸美絵子	13	※ 中畑直美	336	※ 山川知美	783
※ 北井美奈子	246	※ 中丸弘子	201	※ 山岸裕子	580
※ 北村栄子	700	※ 中村富美子	688	※ 山下千鶴子	609
※ 久保田智恵美	624	※ 中西田倫子	781	※ 山田小夜子	652
※ 久保田美雪	792	※ 野田沙織	704	※ 山寺智子	524
※ 栗田瞳	542	※ 野谷昌子	341	※ 山本浩子	402
※ 桑原朱美	507	※ 長谷川江里子	793	※ 山本美和	603
※ 小坂通子	300	※ 長谷部博子	233	※ 和田節子	78
※ 後藤多知子	926	※ 波多幸江	929	※ 渡辺典子	790
※ 後藤ひとみ	16	※ 花井典子	556		

<近畿>

※ 井口 めぐみ	418	※ 幸谷 友子	621	※ 西牧 真理	254
※ 石塚 智恵子	772	※ 古角 好美	261	※ 丹羽 法子	514
※ 磯田 宏子	410	※ 小西 俊子	15	※ 長谷川 ちゆ子	171
※ 市木 美知子	553	※ 小西 直美	408	※ 林 照子	815
※ 一ノ瀬 恵衣	920	※ 近藤 文子	18	※ 播磨谷 澄子	329
※ 出井 梨枝	444	※ 桜井 久恵	21	※ 日垣 慶子	839
※ 江崎 和子	485	※ 佐藤 容子	252	※ 平松 和枝	248
※ 大川 尚子	481	※ 鹿田 紀子	398	※ 福本 恵	64
※ 大中西 裕理	685	※ 住吉 由加	616	※ 古川 郁	857
※ 大西 喜代子	471	※ 高井 聡美	520	※ 松永 かおり	392
※ 大平 曜子	610	※ 武田 和子	848	※ 村瀬 みほし	317
※ 大道 乃里江	102	※ 多田 律子	26	※ 森川 英子	779
※ 岡本 啓子	470	※ 津川 絢子	495	※ 守田 幸美	921
※ 小原 愛子	614	※ 辻 立世	188	※ 森村 祐子	382
※ 加納 亜紀	861	※ 徳山 美智子	242	※ 森脇 裕美子	854
※ 亀山 鮎美	841	※ 中尾 香織	322	※ 山根 明子	728
※ 川原 慶子	469	※ 長沢 美代子	165	※ 山平 美代子	522
※ 菊池 美奈子	832	※ 中島 敦子	381	※ 山本 順子	801
※ 北口 和美	383	※ 中保 敦子	910	※ 山本 冬子	371
※ 北村 米子	717	※ 永山 ひとみ	373	※ 吉田 純子	374
※ 木村 龍雄	14	※ 西川 恵	853		
※ 楠本 久美子	116	※ 西木 澄江	582		

<中国・四国>

※ 安藝敦子 730	※ 貴志知恵子 429	難波知子 808
※ 阿部清子 207	※ 北川早百合 731	※ 西岡かおり 571
※ 阿部康子 651	※ 久保裕子 732	※ 西尾小和 734
※ 池永理恵子 552	※ 郷保木義子 151	※ 西野本百合子 915
※ 池本禎子 107	※ 後東田美代子 561	※ 乗松尾恵理子 735
※ 石原昌江子 4	※ 篠田村有里 855	※ 藤尾由美 840
※ 石田良子 641	※ 下村美佳子 930	※ 藤澤伸子 736
※ 井上上恵子 419	※ 白方美砂子 620	※ 藤本比登美 872
※ 井上上睦美 925	※ 新開美和子 884	※ 松枝睦美 701
※ 岩上佐幸恵子 551	※ 鈴木薫 349	※ 松嶋紀子 146
※ 上田公子 924	※ 高橋香代 347	※ 三浦惠美子 723
※ 岡崎由美子 928	※ 竹内理恵 530	※ 三溝直美 751
※ 岡本陽子 288	※ 武内千恵 208	※ 三谷由岐子 737
※ 奥田紀久子 409	※ 田嶋八千代 427	※ 三宮由香里 331
※ 榎地千恵美 820	※ 田代佳子 455	※ 宮崎久美子 697
※ 梶谷さとこ 919	※ 橋本晴子 733	※ 門田新一郎 745
※ 梶原京子 394	※ 島佳子 906	※ 柳谷早苗 747
※ 上村弘子 859	※ 津島ひろ江 108	※ 山崎敏子 296
※ 萱原智子 573	※ 中西佐智子 32	※ 山横山 369
※ 川内ツルキ 12	※ 中中美恵子 330	
※ 川嶋めぐみ 877	※ 中中紀美子 286	
※ 河本妙子 835	※ 中中千施子 912	

<九州>

※ 安部朱實 88	※ 酒見さやか 677	廣田幸恵 828
※ 有村信子 199	※ 酒渡真由美 643	※ 福島加南子 807
※ 石川美加枝 716	※ 執行裕子 714	※ 福富敦子 635
※ 石走知子 405	※ 柴崎卓巳子 266	※ 福富由美 693
※ 市村國夫 908	※ 住田実 267	※ 福富上由香利 907
※ 伊藤亜紀 482	※ 瀬口久美代 598	※ 福船江順子 858
※ 後藤迫貴菜子 827	※ 園田淑子 345	※ 本松田優子 310
※ 内田郁美 810	※ 高田実 239	※ 松松葉芳子 72
※ 大塚さとみ 639	※ 田嶋綾乃 831	※ 松松藤佳子 671
※ 緒方直子 847	※ 田代明子 414	※ 松松本恵美子 359
※ 沖田直舞 566	※ 田邊太郎 905	※ 松松本敬子 38
※ 川崎芽求美 903	※ 筒井康子 850	※ 松本本恵 640
※ 浄住護雄 753	※ 角田智恵美 851	※ 松馬本恵美子 360
※ 熊谷直美 777	※ 時吉佐和子 896	※ 満田タツエ 415
※ 倉園律子 834	※ 十時美津子 209	※ 横尾美智代 812
※ 古賀敬子 83	※ 中西弘美 829	※ 吉田あや子 200
※ 坂井子 301	※ 西林千賀子 899	※ 脇由里子 660
※ 佐方仁美 666	※ 日高由紀 885	※ 和氣則江 358

---

---

## 学会誌第12巻第1号投稿原稿の募集

---

---

「日本養護教諭教育学会誌」第12巻第1号の原稿を募集しています。

養護教諭の実践、養成教育や現職教育に関する調査などを研究論文にまとめて投稿してみませんか？

学会誌上で会員が相互に研究成果を交換し合い、それを実践で検証し、さらなる研究と積み重ねによって、より質の高い養護教諭のあり方を追求していけたらと思っています。積極的な投稿をお待ちしています。

●投稿資格：本学会の会員に限ります。

●原稿の種類：論壇、総説、原著、研究報告、実践報告、研究ノート、資料、その他です。

●募集期間：年間を通して受け付けていますが、第12巻第1号の原稿の最終締め切りは、2008年9月30日（火）です。

●投稿方法：A4判横書きで3部（内2部は査読用なので、著者名、所属を記入していないもの）を作成し、編集委員会事務局に送付してください。原稿枚数や執筆要項等については、学会誌第11巻第1号に掲載の「日本養護教諭教育学会誌投稿規定」、「日本養護教諭教育学会誌への論文投稿のしかた」をご参照ください。

●問い合わせ先：ご不明な点がございましたら、編集委員会事務局にお問い合わせください。

なお、査読が終了し受理された論文から掲載しますので、早めに投稿されることをお勧めします。また、受理までに長期間を要する場合は、第12巻以降の掲載になる場合があることを、念のために申し添えます。

<編集委員会事務局>

〒154-8515 東京都世田谷区世田ヶ谷4-28-1  
国士館大学文学部教育学科  
鈴木裕子研究室

---

---

### 理事会等の報告

---

---

2007年7月以降の理事会等の活動報告は次の通りです。

#### ☆理事会

##### 1. 2007年度 第2回

日時：2007年7月16日（月）  
10:00～18:00

場所：名古屋市公会堂（名古屋市）

出席者：理事9名（鎌田、後藤、斉藤、鈴木薫、鈴木裕子、高橋、竹田、徳山、山崎）

内容：2007年度会計中間報告、研究助成金研究の選定結果、用語集の配布、第15回学術集会の企画と運営、2007年度総会準備、役員選出規定検討小委員会報告等

##### 2. 2007年度 第3回

日時：2007年10月5日（金）  
13:00～15:30

場所：札幌エルプラザ（札幌市）

出席者：理事8名（欠席：徳山）、浅利恵子監事、津村直子学会長

内容：2007年度総会の運営及び議案確認、プレ・コンgresの内容確認、中央教育審議会（学校健康・安全部会）での審議内容について等

##### 3. 2007年度 第4回（臨時）

日時：2007年12月1日（土）  
10:00～17:00

場所：愛知県産業貿易館（名古屋市）

出席者：後藤、斉藤、鈴木薫、山崎

内容：11月27日に文部科学省から出された中央教育審議会（学校健康・安全部会）の「子どもの心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取組を進めるための方策について」（審議経過報告）に対するパブリックコメント募集への本学会としての意見のまとめ、会員への周知方法等

##### 4. 2007年度 第5回

日時：2008年1月14日（月／祝）  
10:00～16:30

場所：名古屋市公会堂（名古屋市）

出席者：理事8名（欠席：高橋）

内容：2007年度総会及び第15回学術集

会の総括、2007年度事業の経過報告、中教審（学校健康・安全部会）へのパブリックコメント内容「養護教諭関係団体連絡会」について、選挙管理委員会について等

#### 5. 2008年度 第1回

日時：2008年4月19日（土）

13:00～16:30

場所：名古屋市公会堂（名古屋市）

出席者：理事9名

内容：2007年度事業の総括と会計報告、第16回学術集会進捗状況、2008年度研究助成金研究の検討、2008年度事業計画等

#### ☆編集委員会

##### 1. 2007年度 第2回

日時：2007年7月15日（日）

14:00～17:00

場所：愛知県産業貿易館（名古屋市）

出席者：後藤、斉藤、竹田、田嶋（欠席：木幡、鈴木裕子、高橋、中川、中根、山崎～台風4号による交通機関不通のため欠席）

内容：2006年度学会誌編集決算報告と2007年度学会誌編集予算案、2007年度編集委員会業務と役割分担、学会誌第11巻第1号の企画、ハーモニー第44号の企画等

##### 2. 2007年度 第3回

日時：2007年10月5日（金）

16:00～17:00

場所：札幌エルプラザ（札幌市）

出席者：後藤、斉藤、鈴木裕子、高橋、竹田、田嶋、山崎（欠席：木幡、中川、中根）

内容：日本養護教諭教育学会誌第11巻第1号の編集日程、ハーモニー第45号の企画等

##### 3. 2007年度 第4回

日時：2008年1月13日（日）

10:00～16:30

場所：名古屋市公会堂（名古屋市）

出席者：後藤、斉藤、鈴木裕子、高橋、

竹田、田嶋、中根、山崎

（欠席：木幡、中川）

内容：日本養護教諭教育学会誌第11巻第1号の査読状況と編集作業、学会誌発刊までの予定、ハーモニー第46号の企画等

##### 4. 2008年度 第1回

日時：2008年4月19日（土）

10:00～12:00

場所：名古屋市公会堂（名古屋市）

出席者：後藤、斉藤、高橋、竹田、田嶋、山崎（欠席：木幡、鈴木裕子、中川、中根）

内容：学会誌第11巻第1号の発刊報告、2007年度事業の総括と2008年度事業計画、ハーモニー第46号の準備状況等

#### ☆中央教育審議会 スポーツ・青少年分科会「学校健康・安全部会」の検討内容に関する意見交流会（本学会が幹事団体として主催）

日時：2007年11月3日（土）

13:00～17:00

場所：東横イン名古屋丸の内（名古屋市）

内容：開催の主旨確認、パブリックコメントにむけた意見交流、今後の活動について等

#### ◇◇◇ お詫びと訂正 ◇◇◇

ハーモニー第45号7頁の日本養護教諭教育学会2007年度総会報告（速報）において、議長平川俊功会員となっていました、正しくは葛西敦子会員でした。関係者の方々には大変ご迷惑をお掛けいたしました。深くお詫びいたします。

#### 編集後記

新学期の慌ただしさも一段落のころでしょうか。桃の産地の岡山に思いをめぐらせながら、そろそろ学会の準備に取りかかりたいところです。楽しみな企画が盛りだくさんです。(F)